

## 医療科学研究科修士課程学位論文審査基準

### 審査体制

主査1名、副査2名以上

### 評価項目

1. 表題の明確性と内容の一貫性及び独自性  
表題が明確であり、独自性のあるテーマである。
2. 研究目的の明確性  
研究の目的が明確に示されている。
3. 研究の意義・着眼点  
学術的あるいは社会的意義を有すると認められるテーマが設定されている。
4. 研究計画・実施に際しての倫理的配慮  
法令および研究倫理の遵守の下に研究が計画、実施されている。
5. データ収集・分析の適切性  
研究テーマに必要とされるデータや資料の収集ならびに分析が適切にされている。
6. 結果の提示の十分性  
分析や考察のための十分な結果が提示されている。
7. 考察の妥当性（結果をもとに考察し、論理の矛盾や飛躍がないか）  
研究結果の解釈及び論述が明快かつ論理的である。
8. 論旨の一貫性  
論旨が一貫している。
9. 文献の偏り及び不備の有無  
関連研究の成果や文献を適切に引用している。
10. 学位論文の発表会での発表や質疑応答の適切性  
口頭発表の能力が十分あり、質疑に対する応答が適切にできる。

### 評価基準

学位論文については、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、上記1～10の評価項目すべてについて、修士学位論文として水準に達していると認められるものを合格とする。

## 医療科学研究科博士課程学位論文審査基準

### 審査体制

主査1名、副査4名以上

### 評価項目

1. 研究の位置づけと新規性  
先行研究を十分に検討・吟味した上で、新しい発想に基づく研究である。
2. 研究の意義・着眼点  
学術的意義を有するとともに発展性があり、社会に貢献する内容である。
3. 研究方法の適切性  
目的達成のための研究方法および手法が適切かつ正確である。
4. 論理展開の整合性  
研究の流れが明瞭に解説され、論理展開に整合性がある。
5. 当該論文に係る評価の客観性・厳格性  
関連する学会誌等に査読付論文として採択されている。

### 評価基準

学位論文については、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）等を踏まえ、上記1～5の評価項目すべてについて、博士学位論文として水準に達していると認められるものを合格とする。

#### (参考)

学位の審査は、論文審査及び最終試験の可否の判定によって行われる。最終試験の方法は次のように定められている。(帝京科学大学大学院医療科学研究科学学位審査取扱要項 第15条)

第15条 最終試験は、次の方法によって行う。

- 一 専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに必要な研究能力又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力の有無を判定するための口頭又は筆記による試験
- 二 専門の研究活動又は高度に専門的な業務を行うのに十分な外国語の素養の有無を判定するための口頭又は筆記による試験